２　地理歴史・公民

学校番号	４１７

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	２　東書　３１０「新選日本史」　（東京書籍）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・時期や環境をイメージしながら、基本的な事柄を理解しましょう。
・歴史的事象の因果関係に注意して学習するようにしましょう。
・歴史的建築物や作品について、資料を活用し、実際に目で確かめてみましょう。

２ 学習の到達目標

・我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
・各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
・歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○歴史的事象と現在との結び付きを意欲的に調べ，考え，歴史を学ぶ意味に気付き，関心をもって主体的に学習に取り組めているか。 ○現代の社会が抱える諸課題について，平和で民主的な世界，地域，国，社会を形成していく主体としての自覚をもって考える態度を身に付けているか。	○日本の歴史の展開から課題を見出し，世界の歴史や国際環境等と関連付けて，実証的，多角的，多面的に考察しているか。 ○歴史的に形成された諸課題について，さまざまな理解・立場があることをふまえて，公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を，適切な方法を選んで効果的に表現しているか。	○日本の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し，歴史を探求する学び方を身に付けているか。	○基本的な歴史事象に関する知識を身に付け，各時代の特色を理解しているか。 ○日本の歴史の展開を，地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解しているか。
評価方法	ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	定期考査

	〔主題学習〕 グループワーク	〔主題学習〕 グループワーク	〔主題学習〕 グループワーク	〔主題学習〕 確認テスト
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ヨーロッパ文化との接触と国内統一	・ヨーロッパ文化との接触 ・織豊政権による全国統一 ・桃山文化	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:日本が初めてヨーロッパ文化と接触した歴史的背景に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。織豊政権の統一事業に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。桃山文化の特色に関して意欲的に追究しようとしている。 b:スペイン・ポルトガルの勢力が東アジア海域に出現した歴史的背景を考察し、日本の位置を適切に表現している。検地・刀狩の目的や結果を考察し、従来の社会からの大きな変化について、適切に表現している。 c:大航海時代におけるヨーロッパ諸国の動向について、当時の世界地図から必要な情報を適切に読み取っている。桃山文化にはどのような特色があるか、写真や図版などを活用して情報を適切に読み取っている。 d:大航海時代におけるスペイン・ポルトガルの動向を理解し、基本的な知識を身に付けている。織田信長と豊臣秀吉の全国統一の過程について理解し、検地と刀狩などの基本的な知識を身に付けている。桃山文化の特色について、理解し、南蛮文化に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート グループワーク ノート
	幕藩体制の成立	・江戸幕府と大名・朝廷 ・身分制度の確立 ・キリスト教禁止と鎖国	○ ○ ○	○ ○	 ○	○ ○ ○	A:江戸幕府の組織や幕藩体制をめぐる課題を意欲的に追究しようとしている。近世社会の身分制度に関して意欲的に課題を追究しようとしている。鎖国下の交易の実態について関心をもち、近世の外交をめぐる課題を意欲的に追究しようとしている。 b:参勤交代の意義について考察し、幕藩体制の特色について適切に表現している。	定期考査 ワークシート ノート 確認テスト

1学期							鎖国政策が行われた背景を考察し、適切に表現している。 c:鎖国令の史料からそれぞれの段階における内容を正確に読み取っている。 d:江戸幕府の成立過程から幕藩体制の形成にいたる経緯を理解し、基本的な知識を身に付けている。近世社会の身分制度に関する基本的な知識を身に付けている。鎖国政策の特色を理解し、基本的な知識を身に付けている。	
	近世社会の発達と町人文化	・幕府政治の進展 ・経済と産業の発達 ・学問の新傾向と元禄文化	○ ○	○ 	 ○ 	○ ○	a: 武断政治から文治政治への転換について意欲的に追究しようとしている。元禄文化の展開について意欲的に追究しようとしている。 b: 武断政治から文治政治に転換した背景を考察し、適切に表現している。 c: 江戸や大坂の繁栄を示すものとして、日本橋や大坂の蔵屋敷を描いた絵画資料や都市人口の表から情報を適切に読み取っている。 d: 武断政治から文治政治に推移した理由を理解し、基本的な知識を身に付けている。上方を中心に花開いた元禄文化について基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート
	幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	・幕藩体制の動揺と政治改革 ・幕藩体制の危機 ・新しい学問の形成と化政文化	○ ○ 	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:18 世紀以降の幕政改革について意欲的に追究しようとしている。19 世紀における幕藩体制の危機について意欲的に追究しようとしている。 b:幕政改革が進められた背景にあった課題を考察し、それぞれの政策の特徴について自らの言葉で適切に表現している。天保の改革が進められた背景や目的を考察し、危機が深まっていった様子を適切に表現している。江戸時代後期に蘭学が発達した背景を考察し、自らの言葉で適切に表現している。 c: 外国勢力の接近をめぐる対応について、異国船打払令の史料から情報を適切に読み取っている。 d:改革のそれぞれの特色を理解するとともに、基本的な知識を身に付けている。幕藩体制の内外の危機について理解し、基本的な知識を身に付けている。蘭学や国学などの新たな学問や思想が発達したことを理解し、化政文化に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート グループワーク

2学期	開国から明治維新へ	・開国 ・幕府の滅亡 ・統一国家の成立 ・近代国家をめざして ・殖産興業と文明開化 ・明治初期の国際情勢	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：日本の開国に関心をもち、鎖国政策の転換と自由貿易の始まりについて意欲的に追究しようとしている。江戸幕府が倒れた事実に関心をもち、その歴史的経緯について意欲的に追究しようとしている。文明開化の諸相について意欲的に追究しようとしている。明治初期の国際情勢について、意欲的に追究しようとしている。 b：アメリカとの条約締結の意義を考察し、自由貿易の影響について適切に表現している。倒幕運動の高まりと薩長同盟の成立によって倒幕の機運が高まったことについて適切に表現している。版籍奉還と廃藩置県の意義について適切に表現している。新たな教育制度や徴兵制の施行、地租改正の実行などに対して民衆の反発がおこった背景を考察し、その理由を適切に表現している。政府が積極的に近代化を進めた背景を考察し、西洋文化の移入が進んだことを適切に表現している。 c：五箇条の御誓文や五榜の掲示などの史料を活用し、新政府が示した政治方針や民衆支配の特色について情報を適切に読み取っている。明治初期の外交と国境の画定について、地図資料から必要な情報を適切に読み取っている。 d：開国にいたった経緯を理解し、不平等条約の内容など基本的な知識を身に付けている。公武合体運動と尊王攘夷運動について理解し、大政奉還から戊辰戦争にいたる動向に関する基本的な知識を身に付けている。版籍奉還や廃藩置県をはじめ、四民平等などの施策について基本的な知識を身に付けている。維新の三大改革としての教育・徴兵・地租改正の目的について理解し、それぞれの政策に関する基本的な知識を身に付けている。政府が近代産業の移植を進めた目的を理解し、基本的な知識を身に付けている。岩倉使節団派遣の目的について理解し、清や朝鮮との関係についての基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート グループワーク

	立憲政治の形成と国民文化	・政府専制への批判 ・立憲政治の成立 ・新しい文化の形成	 ○ 	○ ○ 	 ○ 	○ ○ ○	a: 憲法の制定過程や初期議会の動向について意欲的に追究しようとしている。 b:国会開設を求める自由民権運動の広がりをもって活発化した背景を考察し、その理由について適切に表現している。不平等条約の改正が実現した背景にあるイギリスの日本接近の理由を考察し、適切に表現している。 c:大日本帝国憲法の条文をもとに、憲法の特色を示す部分に注目して内容を適切に読み取っている。 d:自由民権運動が大同団結運動によって再燃した経緯を理解するとともに、運動のそれぞれの段階についての基本的な知識を身に付けている。立憲政治の成立にいたる過程と憲法の特色を理解し、基本的な知識を身に付けている。学校教育の普及と思想界の国家主義的な動向について理解し、文学や美術の新たな動きに関して基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート グループワーク 確認テスト
	日本の近代化と東アジア	・日清戦争と東アジアの変容 ・「中国分割」と日露戦争 ・工業化と資本主義の発達 ・近代文化の発達	○ ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ 	○ ○ ○ ○	a:明治期における日本人のアジア観に関心をもち、日清戦争の勃発をめぐる課題を意欲的に追究しようとしている。帝国主義が広がるなかでおこった日露戦争について意欲的に追究しようとしている。過酷な労働条件で働いた女性たちの存在に関心をもち、日本における産業革命の進展について意欲的に追究しようとしている。西洋的な生活文化の普及に関心をもち、国民的性格をもつ近代文化の発達について意欲的に追究しようとしている。 b:日清戦争が勃発した背景を考察し、朝鮮をめぐる日本と清の関係について適切に表現している。日露戦争がおこった背景を考察し、朝鮮・満州における利権をめぐって日ロの対立がおこったことについて、適切に表現している。 C:日清戦争後の中国分割について各国の勢力範囲などを適切に読み取っている。 d:日清戦争の勃発から展開、結果についての動向を東アジア情勢の推移のなかで理解し、日清戦争後の議会の動向に関する基本的な知識を身に付けている。列強の中国進出から日露戦争にいたる動向を理解し、日本による韓国の植民地化について基本的な知識を身に付けている。軽工業を中心に発達した日本の資本主義について理解し、その一方で深刻化した社会	定期考査 ワークシート ノート 確認テスト

							問題について基本的な知識を身に付けている。近代文学の発達や近代芸術の展開について理解するとともに、生活文化に関する基本的な知識を身に付けている。	
2学期	デモクラシーと第一次世界大戦	・第一次世界大戦と日本 ・新たな国際秩序と日本への影響 ・大衆社会の形成	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:第一次護憲運動で国会をとりまく民衆の姿に関心をもち、日露戦争後の政治の動向について意欲的に追究しようとしている。普通選挙の実現に関心をもち、第一次大戦後の新たな国際秩序と日本への影響について意欲的に追究しようとしている。 b: 第一次世界戦が日本に与えた影響を考慮し、中国進出の動きや日本経済の葉点について適切に表現している。中国や朝鮮で民族運動が展開した背景を考察し、第一次大戦後の新たな国際秩序について適切に表現している。大衆文化が広がった背景を考察し、大正期における都市化の進展について適切に表現している。 C: 第一次世界大戦中の日本経済の発展について、産業構造の変化のグラフからその特色を読み取っている。 d: 政党内閣が成立する経緯を理解し、第一次世界大戦中の日本の動向に関する基本的な知識を身に付けている。第一次大戦後の国際秩序やワシントン体制の特色を理解し、国内におけるデモクラシーの動向に関する基本的な知識を身に付けている。都市化が進むなかで広がった大衆文化の特色について理解し、教育・文化の動向に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート グループワーク
	激動する世界と日本	・揺れ動く経済と中国侵略の本格化 ・日中戦争と国内体制の改編 ・太平洋戦争	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:軍部の台頭や中国侵略の経緯について意欲的に追究しようとしている。日中戦争下の軍部の動向に関心をもち、日中戦争と国内体制の改編について意欲的に追究しようとしている。太平洋戦争の勃発から終結にいたる経緯について意欲的に追究しようとしている。 b:満州事変が計画された背景を考察し、日本における恐慌の深刻化と社会不安について適切に表現している。日中戦争が長期化した背景を考察し、長期持久戦体制をつくりあげる手段として国解体性が形作られたことを適切に表現している。 c:昭和初期の日中関係を理解するために1920 年代の中国情勢の地図等を活用して、必要な情報を適切に読み取っている。	定期考査 ワークシート ノート

							太平洋戦争の推移について関連地図から情報を適切に読み取っている。 d:昭和初期の恐慌が深刻化するなかで対中国政策が強硬なものに転じていく経緯を理解し、満州事変以後の政治や外交に関する基本的な知識を身に付けている。日中戦争の拡大から第二次世界大戦の勃発にいたる流れを理解し、国内において目指された新体制に関する基本的な知識を身に付けている。日米交渉の失敗から太平洋戦争勃発した経緯を理解し、戦争の実態や国民生活の窮迫、戦争への道について基本的な知識を身に付けている。	
3学期	占領と国内改革	・占領と日本国憲法の成立 ・冷戦の開始と経済復興	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:日本国憲法の成立について関心をもち、連合国軍による日本占領の特色に関して意欲的に追究しようとしている。東西冷戦について意欲的に追究しようとしている。 b:財閥解体や農地改革、教育の民主化や新憲法の制定などが実施された背景を考察し、連合国軍による日本占領の基本方針について適切に表現している。アメリカが日本の占領方針を転換した背景を考察し、東西冷戦が東アジアに及ぼした影響について適切に読み取っている。 c:日本国憲法の特色について、大日本帝国憲法との比較のなかで注目される部分に着目して条文の内容を読み取っている。冷戦下の国際状況について、関係地図から情報を適切に表現している。 d:日本の占領政策における非軍事化と民主化の方針を理解し、次々に実施された諸改革に関する基本的な知識を身に付けている。冷戦の開始が東アジアに大きな影響を与えたことを理解し、日本の経済復興と再軍備が進んだことに関して基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート グループワーク 確認テスト
	国際社会への復帰と高度経済成長	・国際社会への復帰と対米協調 ・経済の高度成長	○ 	○ ○	 	○ ○	a:国際社会に復帰した日本の対米協調路線について意欲的に課題を追究しようとしている。 b:日米安全保障条約が結ばれた背景を考察し、日本の独立は東西冷戦が激化するなかで実現したことについて適切に表現している。日本経済が高度成長を実現した背景を考察し、適切に表現している。 c: 産業構造の高度化について、産業別就業者数の構成比を示したグラフからデータを読み取り、国民生活における耐久消費	定期考査 ワークシート ノート 確認テスト

							財の普及について、グラフから適切に情報を読み取っている。 d:東西冷戦が激しくなるなかで日本が独立を回復した経緯を理解し、独立後の日本が対米協調を基本方針として展開した諸政策について基本的な知識を身に付けている。日本経済の復興から高度成長への展開について理解するとともに、国民生活の変化や成長の代価として生まれた公害などの諸問題に関して基本的な知識を身に付けている。	
3学期	石油ショックと低成長の時代	・1970 年代の国際社会と日本 ・安定成長への転換	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:中国との国交正常化に関心をもち、1970年代の国際社会と日本の関係について意欲的に追究しようとしている。日本経済が安定成長に転換したことについて意欲的に追究しようとしている。 b:1970 年代における冷戦構造の変化について適切に表現している。ドルショックと石油ショックが日本経済に与えた影響について適切に表現している。 c:日中両国の関係について、日中共同声明の史料から重要な点を読み取っている。 d:1970 年代における東西冷戦の変化が日中関係の正常化をもたらしたことを理解し、国内における政治の動向について基本的な知識を身に付けている。高度経済成長の時代が終焉して安定成長へと転換した理由を理解するとともに、貿易摩擦の激化や国内の行財政改革について基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート
	新しい国際秩序と日本の課題	・激変する世界と日本 ・停滞する日本経済と成長するアジア	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:55 年体制の崩壊に関心をもち、1990 年代以降の世界と日本について意欲的に追究しようとしている。アジア諸国の経済発展や世界で評価される日本文化に関心をもち、現状の世界の動きやこれからの課題を意欲的に追究しようとしている。 b:今日でも世界各地で紛争が多発している背景を考慮し、冷戦終結後の国際社会の激変について適切に表現している。現代の日本経済が停滞している背景を考察し、長引く不況に対応するための構造改革について適切に表現している。 c:55 年体制の崩壊を理解するために、衆議院選挙の政党別得票率と議席数のグラフからデータを適切に読み取っている。 d:ソ連の解体と冷戦の終結にともなう国内政治の変動について理解し、55 年体制の崩壊とその後の不安定な政治状況に関す	定期考査 ワークシート ノート

							る基本的な知識を身に付けている。日本経済が停滞している一方でアジア諸国の経済発展が進んでいることを理解し、現代日本の抱える課題について基本的な知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。